

～行ってみよう！言ってみよう！～

磐田市議会「シティミーティング」

## 建設産業委員会報告

【所管事務調査】

- 1.産業振興による中心市街地の活性化について
- 2.カーボンニュートラルについて



LIGARE

1



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

建設産業委員会の報告をいたします。

建設産業委員会は、経済産業部、建設部、環境水道部及び農業委員会の所管に属する事項で、産業振興、企業立地、雇用促進、経済観光、農林水産振興、都市計画、都市整備、道路河川、建築住宅、環境、ごみ対策、上下水道などを担当しています。

委員会では、今年度所管事務調査として、「1.産業振興による中心市街地の活性化について」と「2.カーボンニュートラルについて」の2つのテーマに取り組んでおります。今回、その2点について報告をします。

# 1.産業振興による中心市街地の活性化について

## ①概要

- ・磐田市が秘めている各種産業のポテンシャルを引き出す
- ・中心市街地や周辺地域の資源有効活用  
(歴史・文化・景観・産業)



## ②市の取り組み状況

- ・産業振興フェア・積極的な企業誘致
- ・起業家支援
- ・軽トラ市
- ・サテライトオフィス
- ・空き家対策
- etc



## ③委員会の取り組み状況と今後の取り組み

- ・全国の市町の先進事例を調査研究
- ・賑わいと雇用の創出



産業振興と市街地の活性化を図る

初めに、1点目の「産業振興による中心市街地の活性化について」ですが、

磐田市が秘めている各種産業の高いポテンシャルを引き出し、中心市街地やその周辺地域に蓄積されている、歴史的・文化的資源の既存ストックを最大限に有効活用して、地域の創意工夫をいかしながら、地域が必要とする事業等を総合的、一体的に推進することにより、各種産業の振興を図り、中心市街地活性化に結び付ける政策を議会として示していきます。

磐田市の取り組み状況ですが、毎年産業振興フェアを開催し積極的な企業誘致を行い産業振興に努めています。その外、おせっかい事業・起業家支援・サテライトオフィスなどの取り組みを進めています。

中心市街地では、軽トラ市など各種イベントへの支援をはじめ、空き家対策にも取り組み、商業による市街地の活性化に取り組んでいます。

委員会では、市街地の活性化を先進的・積極的に取り組んでいる全国の市町の事例を参考に調査研究を行い、官と民が一体となって市街地の活性化を図ると共に産業の振興を図り、まちの賑わいと雇用の創出を生み出し、まちの活性化に結び付ける策をまとめ、提案していきたいと考えています。

今日の意見交換では、まちの賑わいづくりについてみなさんのご意見をお聞かせください。

## 2.カーボンニュートラルについて

### ①概要

- ・地球温暖化に起因する温室効果ガスを抑制→2050年ゼロに
- ・気候変動の抑制→自然災害の軽減
- ・次世代が安心して暮らせる環境を整える
- ・一人ひとりが意識した行動



### ②市の取り組み状況

- ・ゼロカーボンシティを表明（令和3年6月）
  - ・エコアクション21
  - ・食品ロス削減キャンペーン
  - ・アース・キッズ事業 etc
- 実施中

### ③委員会の取り組み状況と今後の取り組み

- ・2050年に向けて脱炭素社会の実現を目指す取り組みを支援
- ・他市町の取り組み事例の調査・研究



**自然災害の発生を減らす  
持続可能な社会を構築**

令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

次に、2点目の「カーボンニュートラルについて」ですが、カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを指します。地球温暖化に起因する温室効果ガスを抑制し、自然災害の軽減を図るためにも、排出量実質ゼロを目指す必要があります。これは、人類に課せられた課題であります。次世代が安心して暮らせる環境を整えることが現代人の使命であり、その為には一人ひとりが、ゼロカーボンを理解し、常に環境を意識して行動する必要があると考えています。

磐田市の取り組み状況ですが、磐田市では、令和3年6月にゼロカーボンシティを表明し、環境省が策定したエコアクション21を基に、第2次磐田市地球温暖化対策実行計画を策定し、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量化及びリサイクルの推進、環境に配慮した物品の購入等について、目標と計画の達成期間を定め、職員一丸となって環境問題に取り組んでいます。具体的な取り組みとして、・食品ロス削減キャンペーン・アース・キッズ事業・いわた COOL CHOICE DAY・エコドライブ・緑化推進などで温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいます。

委員会では、2050年の脱炭素社会の実現を目指す為、全国の市町の取り組みや先進企業の事例を調査・研究してまいります。

地球温暖化対策により、近年多発している自然災害の発生を減らす取り組みが必要とされていますので、自らの生活様式や社会経済活動の在り方を見つめ直し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築していく必要があると考えます。

そのために、建設産業委員会では、市民の皆さんや市内事業者が一体となって脱炭素社会に向けて取り組んで行けるように、研修会等を行いながら調査・研究・協議を進め、市に政策や支援等について提案していきたいと考えています。

以上で建設産業委員会の報告を終わります。